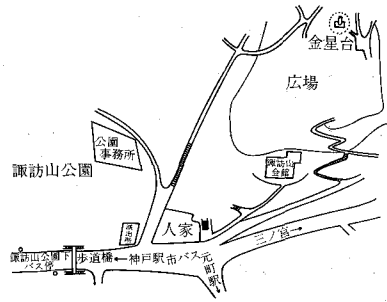


関西天文ハイキング (5)

神戸諏訪山金星台

金星台は1874年12月9日の金星日面経過のため来日したフランス観測隊の観測地点であり、その記念碑がある。その前の広場は眺望よく、市民の憩いの場所となっている。碑文については昭和54年5月号の天文月報に紹介があり、また東京天文台報第16巻第2冊に詳述されている。碑は高さ約2米、径約70センチの花こう岩で、表面はフランス語、裏は邦文が刻まれている。フランス語の語尾は簡略化され、邦文では観測地の経緯度数値は未測定のため刻まれてない。隊長ジャンサン(1824-1907)は神戸でなく長崎で観測したのにここに名が刻まれている。

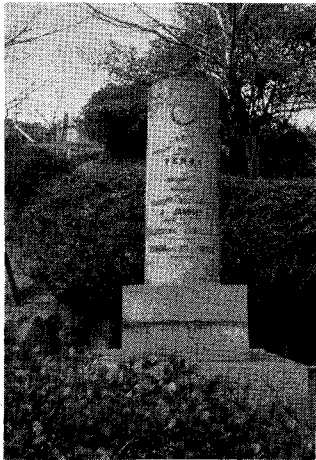
金星台へは、国鉄神戸駅と三宮駅との両駅から、6番または7番の市バスで約15分の諏訪山公園下で下車、東へ約80米ほど行き、樹々の間の石畳のジグザク道を登ると約5分で到着する。国鉄元町駅からはタクシーで10分で着くが、同駅からゆるい坂を20分ほど歩けば前



記バス停の東側に出る。なお新幹線神戸駅からタクシーで10分ぐらい。

金星台の南西600米に神戸海洋気象台がある。1923年にここに設置されたクック製25センチ屈折望遠鏡は、1967年神戸市に移譲され、今は1984年4月にオープンした神戸市立青少年科学館の7mドームに納っている。毎日太陽黒点とプロミネンスの観望や夜間の天体観望に使用されている。同館へは国鉄三宮駅でポートライナーに乗り換え、南公園駅下車、徒歩3分である。

(神戸市立青少年科学館 福井実信)



◇ 5月の天文暦 ◇

日	時	記	事
1	23	水星	西方最大離角
4	14	月	最近
5	5	望	(月食-月入帯食)
5	23	立夏	(太陽黄経 45°)
9	22	金星	最大光度
12	3	下弦	
16	3	土星	衝
17	9	月	最遠
20	7	朔	(日食-部分食)
21	12	小満	(太陽黄経 60°)
27	22	上弦	

◇ 5月の日月惑星運行図 ◇

